

あかし市議会だより

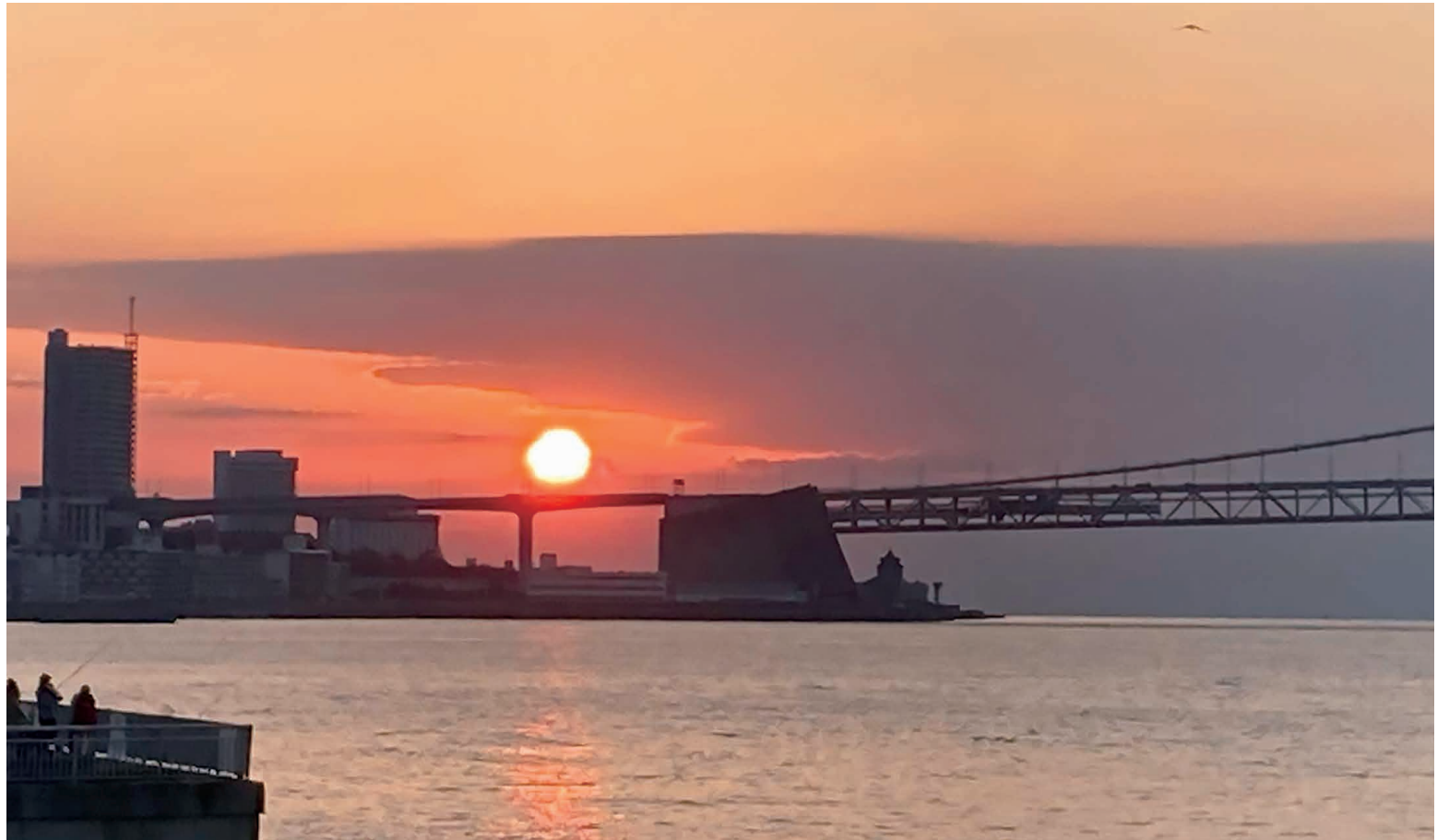
271号
2025年(令和7年)
1月8日発行

編集・発行 明石市議会 〒673-8686 明石市中崎1丁目5番1号 TEL911-2600・FAX918-5112

謹賀新年

自由民主党明石
出雲有希子
石井宏法
灰藤圭順
榎野修平
千本住和夫
三好介宏
辰巳浩司
公明党
河村和歌子
長尾博子
尾倉あき子
飯田伸志
国出田拓宏
梅の希
市中川夏会
中山下良望
山黒田智裕信
子司

明石かがやきネット
林丸美子
竹内きよ太
宮坂祐吉広
寺井祐吉会
明石維新の会
石上雅彦
中正村茂幸
高木秀彰
日本共産党也
辻本達
対話の会あかし皇
中西礼子
スマイル会
家根敦(会派別・議席順)



明石海峡上でオレンジ色に輝く日の出に明石のさらなる発展を願う

災害に強いまちづくりと にぎわい創出に向けて



明石市議会議長
辰巳浩司

市民の皆さま、明けましておめでとございます。平素より市議会への深いご理解と議会活動に対する温かいご支援とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

昨年は能登半島地震が発生し、南海トラフ地震臨時情報も発表されるなど、改めて災害への備えの重要性を痛感しました。

折しも本年は、兵庫県南部地震から30年の節目を迎えます。震災当時を知らない世代が増える中、震災の経験や教訓を語り継ぐことが大切であるとともに、一人一人が自分事として防災対策に取り組むなど、災害に強いまちづくりのさらなる推進のために、議会としての役割を考え、行動していかなくてはなりません。

また、本年は大阪・関西万博が開催され、国内外から多くの方が訪れるほか、神戸空港の国際化によるインバウンド需要も期待されることから、本市にも訪れていただけるよう明石の魅力をより一層発信する必要があります。さらに、そうした人の流れによるにぎわいを持続的なものにするためには、経済全体の活性化が不可欠です。

市議会としては、県と連携した明石港東外港地区の再開発や、県立明石公園の利活用の推進など、明石の魅力を生かしたにぎわいあふれるまちの構築に向け、議員一同、しっかりと議論してまいります。

本年が市民の皆さまにとって幸多き年となりますよう心から祈念申し上げます。

令和6年第2回定例会12月議会が11月27日から12月18日まで開かれました。物価高騰対応支援給付金給付事業費を含む令和6年度明石市一般会計補正予算や、明石市水道事業の設置等に関する条例の全部を改正する条例制定のことなど、議案18件を可決、諮問1件を同意、報告6件を了承したほか、請願1件を採択しました。

市議会議員は公職選挙法で
年賀状や寄付、祝いなどは
禁止されています。
皆さまのご理解を
お願い申し上げます。



- も 2 市政を問う 20人が登壇
く 4 質疑・一般質問
- じ 4 請願
- 4 議員よもやま話

- 6 先進的な取り組みを視察
委員会行政視察
- 7 特集
兵庫県南部地震から30年
- 8 各議員の議案等に対する賛否を掲載
議案の賛否一覧



市議会だよりを
スマホで読める



※利用にはアプリのダウンロード
が必要です。



質疑・一般質問

12月4日、5日、6日の本会議では、20人の議員が登壇し、小中学校の体育館の空調整備や中学校部活動の地域移行、大久保駅周辺市有地の利活用に向けた取り組みなどについて、市の見解を求めました。

発言者と質問項目の一覧は下段に、主な内容は2面から5面に掲載しています。

なお、二次元コードを読み取ると本会議の録画映像をご覧いただけます。



発言者一覧

—発言順— () は会派名

- 飯田 伸子** (公明党)
- ①生理休暇を取得しやすい環境整備への取組
 - ②誰もが気軽に楽しめるサイクリングロードへの利用環境の整備
 - ③明石市立市民会館における障害者や高齢者等要配慮者の避難経路確保
- 山中 裕司** (市民の会)
- ①都市で気軽に楽しめるアーバンスポーツの可能性と推進
 - ②持続可能な地域のボランティア活動
- 竹内 きよ子** (明石かがやきネット・代表質問)
- ①大久保駅周辺市有地利活用の進捗状況
 - ②本市の小・中学校の抱える課題とその対応
 - ③明石養護学校の課題
 - ④明石市内の観光スポットへのモニュメント設置
- 正木 克幸** (明石維新の会)
- ①明石市のさらなる産業振興政策
 - ②DX化の推進による市民サービス向上
- 石井 宏法** (自由民主党明石・代表質問)
- ①明石市の財政見直し
 - ②観光地域づくり法人(DMO)
 - ③豊かな海づくり
 - ④体育館の空調整備
- 河村 和歌子** (公明党)
- ①プレコンセプションケア(若い男女を対象として将来の妊娠のための健康管理を促す取組)の推進
- 中川 夏望** (市民の会)
- ①市民が安心して利用できる公共施設の在り方
 - ②こどもや保育士が守られる保育環境の整備に向けて
 - ③子育て支援のさらなる発展のために
- 林 丸美** (明石かがやきネット)
- ①災害時における自助・共助への市民の関心を高める取組
- 中村 茂雄** (明石維新の会)
- ①運動部活動の地域移行
 - ②これからのこどもの居場所づくり
- 灰野 修平** (自由民主党明石)
- ①本市の地域経済活性化や地域産業の強化
 - ②本市の持続可能な医療費制度
 - ③大久保駅周辺市有地の利活用に向けた取組
- 国出 拓志** (公明党)
- ①明石市公式LINE
 - ②LINEのオープンチャット
 - ③市内の小中学校の体育館におけるエアコンの整備
- 黒田 智子** (市民の会)
- ①地域で安心して暮らすために金銭管理が必要な方への支援
 - ②地域共生社会に向けたコミュニティ・スクールのさらなる推進
- 出雲 有希子** (自由民主党明石)
- ①PFASの問題への対応
- 尾倉 あき子** (公明党)
- ①DV被害等困難な問題を抱える女性への支援
 - ②特別支援教育の充実
- 山下 祥** (市民の会)
- ①制度の間で取り残されている子育て世代に目を向けた施策
 - ②本市の関係人口を濃く広く増やしていく取組
- 井藤 圭順** (自由民主党明石)
- ①小学校の民間プール活用
 - ②中学校部活動の地域移行
 - ③神戸マラソン
- 金尾 良信** (市民の会)
- ①放課後等デイサービスの課題
 - ②災害発生時における福祉避難所の連携体制
 - ③市内の踏切内の安全対策強化
- 辻本 達也** (日本共産党)
- ①明石川のPFAS汚染
 - ②市政の課題
 - ③外国人児童生徒の教育に係る現状認識と今後の取組
 - ④介護保険における住宅改修
 - ⑤放課後児童クラブ
- 中西 礼皇** (対話の会あかし)
- ①自転車に関する取組
 - ②観光振興
- 家根谷 敦子** (スマイル会)
- ①障害者支援
 - ②誰一人取り残さないまちづくり

多様な学びや体験ができる こどもの居場所づくり 1月に魚住地区でも開設予定

問 自己肯定感を高めるこどもの居場所づくりについて本市の見解は。

答 本市は学校になじまないなど、さまざまな課題を抱える6歳から18歳の子どもを対象に多様な学びや体験ができる学校でも家庭でもない第3の居場所として、令和3年9月にあかしフリースペース☆トロッコを開設以来、より良いこどもの居場所とするために改善を重ね



令和3年9月開設 あかしフリースペース☆トロッコ

ており、利用待機者の対応として定員を30人に拡充し、利用が少ない子どもを待機者が利用できるデジタル制度を導入した。また、子どもたちの声をきっかけにスパーでの就労体験や高齢者対象のスマホ講座の講師を担うなど、人の役に立つ経験や職業観を育む学びの場の支援等を実施した。

支援の拡充に向け、今年1月、魚住地区に新たなこどもの居場所を開設する予定だ。ビ

問 市内中学校等の体育館への空調整備状況と今後の小学校の体育館への整備について市の見解を問う。

答 近年、猛暑による熱中症のリスクが増加していることから、市内全ての中学校と明石商業高等学校の体育館に空調機器を設置する。計画として令和7年4月から工事を行い、7月の稼働を目指す。

問 現在開発されているエネルギー効率の高い空調機器は、バスケットボールの高さ程度の低い位置に設置し、緩やかながら通常の数倍の風量かつ直進性のある冷風により、高さ3メートル以下、50メートル先まで冷やせ、人がいる空間のみ冷やすため消費エネルギーは少ない。また、6年度の民間提案制度からの試行実施として1、2校に遮熱シートを設置し、断熱効果が認められた場合、他校にも導入し、経費削減を図る。費用は総額3億7千万



今夏に空調を設置予定(明商体育館)

問 増加傾向にある外国人児童生徒の現状と今後の取り組みについて聞く。

答 本市は、日本語指導が必要な外国人児童生徒等の在留期間等に応じて、在籍する学校に県派遣の子ども多文化共生サポーターや市派遣の子ども多文化共生ボランティアを配置し、

問 増加傾向にある外国人児童生徒の現状と今後の取り組みについて聞く。

答 本市は、日本語指導が必要な外国人児童生徒等の在留期間等に応じて、在籍する学校に県派遣の子ども多文化共生サポーターや市派遣の子ども多文化共生ボランティアを配置し、

問 増加傾向にある外国人児童生徒の現状と今後の取り組みについて聞く。

答 本市は、日本語指導が必要な外国人児童生徒等の在留期間等に応じて、在籍する学校に県派遣の子ども多文化共生サポーターや市派遣の子ども多文化共生ボランティアを配置し、

子どもたちが行きたい居たい、やってみようがある場所として、利用登録のない子どもも利用できるフリーコーナーを併設するなど、個々の子どもに合った取り組みを行っていく。

問 子どもたちや地域の輝く未来を創るためには、コミュニティ・スクールの推進が必要と考えるが、市の認識は。

答 本市は、学校・地域・家庭が連携・協働し、子どもの今を育てつつ、未来を生き、未来を創る資質・能力を育むための仕組みづくりを行うため、令和元年度から全小学校、2年度から全中学校にコミスクを導入した。

問 コミスクを進める上で、児童生徒の実態や

答 本市は、学校・地域・家庭が連携・協働し、子どもの今を育てつつ、未来を生き、未来を創る資質・能力を育むための仕組みづくりを行うため、令和元年度から全小学校、2年度から全中学校にコミスクを導入した。

問 コミスクを進める上で、児童生徒の実態や

答 本市は、学校・地域・家庭が連携・協働し、子どもの今を育てつつ、未来を生き、未来を創る資質・能力を育むための仕組みづくりを行うため、令和元年度から全小学校、2年度から全中学校にコミスクを導入した。

学校と地域で子どもを育む

コミュニティ・スクール

各校の実情に応じて推進を

て年齢よりも下の学年に編入する等の対応を行うほか、貴崎小と二見西小の各コミセンでは、日本語指導を必要とする市内の外国人児童生徒等に日本語教室を開催している。

なお、就学援助を一部外国人向け公立学校に拡大している自治体や在日外国人学校へ就学する外国籍の児童生徒を対象に補助金を支給する自治体もあることから、本市も調査・研究していきたい。

中高生などの若い世代へ プレコンセプションケアの推進 妊娠・出産の正しい知識を

問 適切な時期に妊娠・出産に関する正しい知識や情報を提供し、自身の健康意識を高めて人生設計に向き合う取り組みであるプレコンセプションケアについて市の見解は。

答 市ホームページには、自身の健康状態について振り返りができるプレコンセプションシートや性感感染症予防などに関する情報を掲載し、周知啓発に努めている。今後は、中高生等の

若い世代に正しい知識を持つてもらえるよう、あかしユーススペースにリーフレットを設置するなど、効果的な周知啓発を検討していく。また、学校教育では、教育活動全体を通じて保健・健康に関する指導を行っている。その中で、プレコンセプションケアを学習するとともに、助産師等の外部講師から妊娠・出産の仕組みを学ぶことで、新しい命の尊さや考え自他ともに尊重する心



リーフレットの設置で効果的な周知啓発を

問 能登半島地震など、全国的に多発する災害に備えた福祉避難所のさらなる充実に向けた本市の取り組み状況は。

答 本市は、民間11法人20施設と福祉避難所の協定を締結し、市施設と合わせて計24施設を確保しているほか、新規施設の拡充にも取り組んでいる。協定締結施設とは年1回程度、意見交換会を実施し、

を育んでいる。なお、プレコンセプションケアの項目を本市の健康増進計画「あかし健康プラン21」に位置付けることについては、国の計画「健康日本21」の動向を踏まえ検討していく。

災害に備え 福祉避難所の さらなる充実を

全国的に多発する災害に備えた福祉避難所のさらなる充実に向けた本市の取り組み状況は。

読書器などの情報・意思疎通に係る用具など、50種目を給付対象としている。暗所視支援眼鏡は、特に視野障害のある人の日常生活改善に有用と認識している。同眼鏡を給付対象に追加している自治体は令和4年の約80から6年には約140まで増えており、4年に神戸市、5年に尼崎市が追加している。現在、本市でも給付基準

休日部活動の地域移行 剣道でのモデル事業を実施中 指導者の確保が大きな課題

休日部活動の地域移行において、運営団体の体制整備や指導者の確保など、保護者の不安な声や相談が多い。市民に周知が必要だが、

問 休日部活動の地域移行において、運営団体の体制整備や指導者の確保など、保護者の不安な声や相談が多い。市民に周知が必要だが、

災害時の連携体制の構築を図っている。明石養護学校をはじめ、身体・知的障害者等を対象とした本市の福祉避難所は大久保北部に集中している。災害時の障害児者の受け入れは、障害の程度や状態に応じたスペースの確保、ニーズに応じた物資の提供など、きめ細やかな対応が必要となる。そのため、明石養護学校に隣接する神戸大学附属特別支援学校と福祉避難所の協定締結に向けて調整を進めているところだ。また、備蓄物資確保

明石養護学校をはじめ、身体・知的障害者等を対象とした本市の福祉避難所は大久保北部に集中している。災害時の障害児者の受け入れは、障害の程度や状態に応じたスペースの確保、ニーズに応じた物資の提供など、きめ細やかな対応が必要となる。そのため、明石養護学校に隣接する神戸大学附属特別支援学校と福祉避難所の協定締結に向けて調整を進めているところだ。また、備蓄物資確保



災害用の地下水貯蔵タンク

市の見解を問う。**答** 本市は令和6年度から国の補助制度を活用して本市の実情に応じた休日部活動の地域移行を目指し、剣道でのモデル事業を開始した。モデル事業を検証する中で剣道連盟の事務的な負担が大きいことが分かり、実際に指導などを行う実施主体の役割を明確化するなど、持続可能な地域移行となるよう検討中



モデル事業の様子 (明石中央体育会館)

子どもの一時的預かりやヘルパー派遣 家庭の事情に応じて柔軟な対応を

明石市ファミリーサポートセンター事業や産前・子育て応援ヘルパー派遣を多子世帯や多様な働き方に合うよう、さらに利用しやす

問 明石市ファミリーサポートセンター事業や産前・子育て応援ヘルパー派遣を多子世帯や多様な働き方に合うよう、さらに利用しやす

い制度としないか。**答** 同センター事業は、育児の援助を行いたい提供会員と援助を受けたい依頼会員が相互に助け合う制度である。同校では、授業やバス移動を安全に行うことができたこと、児童の泳力向上にも効果があり、児童・保護者・教職員のアンケート結果も好評であったことから、引き続き、民間プールを活用した水泳授業を実施する。今後、プールの大規模改築が必要な小学校については、児童数や民間プールとの距離、費用等を踏まえた上で、民間プールの活用を検討していく。

者の確保も大きな課題と認識しており、協会加盟団体以外の市内の指導者への呼びかけや公募を行うなど、指導者の確保に努めていく。同制度は、本市の子どもたちのためのものである。地域移行の理解を深めてもらうため、6年10月から教育委員会のホームページに事業内容を掲載しており、当事者である子どもや保護者の声を聴きながら丁寧に取り組んでいきたい。

谷八木小学校で民間プールを活用 児童・保護者・教職員からも好評 今後の小学校の水泳授業の方向性は

民間プールを活用した谷八木小学校の水泳授業の状況や今後の在り方について、市の見解を聞く。

問 民間プールを活用した谷八木小学校の水泳授業の状況や今後の在り方について、市の見解を聞く。

答 谷八木小学校のプールは全面改築が必要となったため、令和6年度にコナミスポーツクラブと委託契約を結び、大久保駅前同クラブで水泳授業を試行実施

した。学校と同クラブは、円滑に授業を進めるため、学習指導要領に沿った指導計画や評価シートを作成した。授業では、多くの指導者を配置し、泳力別にクラス分けすることで、きめ細やかな指導ができ、バス移動もけがやトラブルなく行うことができた。

同校では、授業やバス移動を安全に行うことができたこと、児童の泳力向上にも効果があり、児童・保護者・教職員のアンケート結果も好評であったことから、引き続き、民間プールを活用した水泳授業を実施する。今後、プールの大規模改築が必要な小学校については、児童数や民間プールとの距離、費用等を踏まえた上で、民間プールの活用を検討していく。

産前・子育て応援ヘルパー派遣は、家事・育児の負担軽減による一時的な負担解消だけでなく、安定して生活できる環境を整えることを目標としており、国のガイドラインに準じて個々の家庭に応じた柔軟な対応に努める。

日常生活用具給付事業 障害のある人の生活改善を図る 暗所視支援眼鏡を対象追加へ

問 暗い場所や夜道が全く見えなくなる夜盲症は、遺伝による視覚障害の中で最も人数が多い。高感度の小型カメラ

答 日常生活用具給付事業は、障害のある人の日常生活上の便宜を図るための用具を給付する事業である。本市では、移動用リフトなどの介護・訓練に係る用具や視覚障害者用拡大

ラを使い目の前のディスプレイに映像を投影できる暗所視支援眼鏡は、いつ起こるか分からない夜間の災害時にも有効だが、約40万円と非常に高価である。購入費用の助成について市の検討状況を聞く。

読書器などの情報・意思疎通に係る用具など、50種目を給付対象としている。暗所視支援眼鏡は、特に視野障害のある人の日常生活改善に有用と認識している。同眼鏡を給付対象に追加している自治体は令和4年の約80から6年には約140まで増えており、4年に神戸市、5年に尼崎市が追加している。現在、本市でも給付基準



すべての人にやさしいまちを目指して

チャレンジ・スタートアップ事業 市内の活力ある中小事業者を応援 さらなる内容の充実を

て、イベント実施などに対する事業補助や防犯に貢献する街路灯に対する電気料補助などの業務を明石市産業振興財団に委託している。令和6年度からは市内の活力ある中小事業者を応援する明石市チャレンジ・スタートアップ事業者支援補助に取り組んでいる。同補助には6件の応募枠を大幅に超える33件の応募があり、選定された6事業者が6年度内の事業実施に向け取り組んでいる。7年度もより充実させた内容で実施できるように検討したい。



まちのにぎわい創出を(魚の棚商店街)

に補助金を周知する方法として広報あかしや市ホームページに市の補助金のほか、県や国の補助金・支援情報サイトを紹介しているが、市内金融機関にチラシの設置を依頼するなど、さまざまな制度の情報が取得しやすくなるよう取り組んでいく。

問 本市のさらなる産業振興政策について聞く。

答 本市は、中小企業活性化支援事業として、経営力を高めるための個別相談や指導、経営発達支援などの業務を明石商工会議所に委託している。また、商店街活性化支援事業とし

災害時に命を守る自助・共助

防災意識向上の取り組みが重要

震災を知らない若い世代への周知を

問 災害時における市民の自助・共助や防災意識を高める市の取り組みを聞く。

答 昨年の能登半島地震や南海トラフ地震臨時情報発表等による災害への備えの機運の高まりを受け、自助・共助の重要性に係る啓発等を進めている。

自助については、地震等の被害想定や災害への備え等を記載したハザードマップの全戸配布、出前講座や地域



防災訓練を実施(谷八木小学校)

の防災訓練での自助の説明、広報紙やホームページ、ケーブルテレビ等を積極的に活用した周知を行っている。

共助については、災害時に助け合える近隣との関係構築の大切さを出前講座等で周知している。また、地域住民による参加型の防災訓練や要配慮者と支援者の連携を強化するひなんサポーターを増員できるように取り組む。今後の課題は、兵庫県南部地震を知らない若い世代への周知である。市内小学校全教室に地震発生時に命を守る手順を記載したポスターを掲示するほか、防災意識を高めるため、明石市公式LINEを活用した分かりやすい情報提供を検討する。

ボランティアの高齢化 持続可能な活動を支える 有償化などの仕組みづくりは

問 現在のボランティア活動は、若者の参加が少なく、高齢化や活動資金の不足などの課題を抱えている。持続可能なボランティア活動を支えるためには、市助成金の対象外経費の緩和、交通費の支給、有償ボランティアの仕組みづくりが必要と考えるが、市の見解は。

答 ボランティア活動は、複雑化、多様化する社会課題を解決する重要な活動であり、本市としても同活動への公的支援の在り方について、さまざまな視点から検討する必要があると認識している。

あかし市民活動応援助成金は、人件費の一部を対象としているが、食糧費は個人に還元される部分が大きく助成の対象外としている。今後は近年の猛暑の実情に合わせ、熱中症対策となる飲料等の経費について見直しを検討したい。

また、令和7年度から2年間かけて、協働のまちづくり推進条例や地域交付金など現行制度について検証する予定であり、地域活動における有償性、無償性等の検討についても行っていきたい。

有機フッ素化合物の情報 市ホームページに掲載 市民に分かりやすく周知

問 明石川流域で、国の暫定目標値を上回る数値の有機フッ素化合物(以下、PFAS)の代表的な物質であるPFOS・PFOAが検出された。市ホームページ(以下、HP)には、PFASの情報が市民に分かりやすく掲載されているのか。

答 国が人の健康や環境に対するPFASの明確な安全基準を示していない中、市民から不安の声が上がっていることは承知している。本市は、市民の不安に寄り添い、透明性を確保しながら適切な情報を発信していくため、令和6年9月からHP内にPFAS専用ページを設けるとともに、出前講座で市職員が地域に出向き、最新の情報を伝えている。HPには、市の状況のほか、国がPFASについて解説する情報ページにたどり着けるよう各サイトのリンクを掲載し

DV被害など問題を抱える女性 早期発見からアフターケアまで 地域と連携しきめ細やかな支援

問 複雑化、多様化、複合化しているDV被害等の問題を抱える女性への支援について聞く。

答 本市は令和6年4月に女性SOS総合サポートセンターを開設し、従前の配偶者暴力相談支援センターと合わせると6年10月末時点で相談者数は200人を超え、5年度の実績を上回る見込みである。6年度は家族間の問題や人間関係の悩みなど、DV以外の相談が増え、相談者へ寄り添う細やかな支援を行っている。また、DV被害への理解者や支援

のある人がステップアップできるよう講座の中級編・上級編を実施する。

市営住宅を活用した市直営のステップハウ入事業も試行実施し、支援の充実や民間支援団体との連携・協働も進みつつある。今後とも被害者の早期発見からアフターケアまで切れ目のないきめ細やかな支援に努めていく。

請願

- ▽採択された請願△
 - 音楽活動を行うことができる文化施設の充実を求める請願
 - 新ごみ処理施設計画について市民説明会を開くよう求める請願
- ▽不採択となった請願△

議員ふもやま話

謹んで新年のごあいさつを申し上げます。2025年が幕を開けました。ミレニアムで沸いた2000年から四半世紀。改めて過ぎていく年月は早いです。

さて、お正月と言えば、おせち料理、お年玉、初詣、お雑煮、年賀状、箱根駅伝など、いろいろと思ひ出されますが、私が一番に連想するのは、親戚の集まりです。普段なかなか会えない親戚が一つ屋根の下に集まり、おせちを囲んだり、お菓子をつまんだりしてだらん。尽きることのない話に花を咲かせて、お互いの無事を確認し合う。そんな時間をこの機嫌に過ごす親戚の集まりは、平和の象徴にも感じます。

2025年、明石がもっとやさしくなりま



本市水道の水源である明石川

市内外の機関と連携し

事業者の創業や脱炭素化を支援

経済と環境の好循環に取り組み

問 地域経済を活性化し地域産業を強化するためには、ビジネスサポートセンターの設置など目に見える形で中小企業等を支援するとともに、地域の経済産業団体との連携が重要と考えるが、市の認識は。

答 本市では、明石商工会議所や明石市産業振興財団との創業支援の

取り組みにより令和5年度は313人の創業希望者を支援した。また、中小企業への支援も業務委託により行っている。事業者の脱炭素化の取り組みについては、市環境室においては、事業者向けの補助制度を設けている。しかし、本市だけの対応では不足しており、近隣

の県や国の機関と連携しながら取り組んでいる。

ビジネスサポートセンターのような施設や雇用を必要とする取り組みの実施は難しいが、現在の事業内容を検証し、より良い事業にしてい

くとともに、国や県の関係機関、明石商工会議所、明石市産業振興財団、地域の



さらなる地域経済の活性化を

金融機関等と連携し、産官学共創のもと、本市の経済と環境が好循環を生み出すよう、取り組みを進めたい。

生理休暇取得の環境整備 誰もが働きやすい職場づくり 理解を広める取り組みを

問 生理休暇を取得しやすい環境整備の見解は。

答 本市は、あかしジェンダー平等の推進に関する条例等の推進にあたり、全ての人がその能力を十分に発揮することができる環境を整備することは重要であると認識している。

生理休暇の取得を促すチラシ等の周知により、令和4年度以降、本市職員の取得は増加

している。今後も職員アンケートの実施等、本制度を取得しやすい職場づくりに努める。また、市内企業に対しては、5年7月から明石市中小企業ジェンダー平等促進制度を開始し、従業員10人未満の事業者が要件の一つとして生理休暇を定めることにより最大10万円を就業規則の整備費として助成している。5年度は7件、6年度は11月末時点で2件の申請があり、誰もが働きやすい職場づくりのきっかけとなっている。

今後、市民対象の講座などで生理に関する理解が広がる機会を増やすとともに、生理痛体験会のモデル実施も視野に入れながら、性別にかかわらず生理の理解が広がるよう取り組みを進めたい。

自転車を活用したまちづくり

観光・環境・健康に対応した

本市の取り組みは

問 自転車を活用した観光振興や自転車通勤推進企業宣言プロジェクトへの市の取り組みは。

答 本市は、明石市自転車活用推進計画において自転車を活用した観光施策の連携、環境負荷の低減、市民の健康増進などの取り組みを進めている。

県道姫路明石自転車道は、はりまの里スーパードライブコースとして県内のサイクリングモデルルートの一つに設定され、県と連携して案内標識やサイクルラック等の設置、パンフレットの作成等を行っている。今後も

は、自転車通勤を推進し、職員の健康増進や環境負荷の低減に取り組む企業が認定を受ける制度であり、駐輪場の確保や安全教育の実施等が認定要件となる。本市活用計画でも自転車通勤等の拡大を推進しており、本市が認定を受けることにより民間企業の申請を促す効果が期待できる。今後は、先進市を調査・研究し、認定取得に向けた取り組みを進めていく。

持続可能な施設運営へ 公共施設配置適正化計画の更新 検討会の取り組みは

的・効果的な配置を定めており、2015年に基本計画、17年に実行計画を策定している。24年度に10年間の第1期計画が終了することから、25年度に基本計画と実行計画を統合し、25年からの10年間の第2期計画を市民参画のもとで策定する予定である。

現在、学識経験者、公募市民、市職員など、10人で構成する財政及び公共施設のあり方に

問 今後の市政に重大な影響を及ぼす公共施設配置適正化計画の更新に係る検討会について、市の見解は。



第2期計画を策定予定(明石市立文化博物館)

答 同計画は、将来的に持続可能な施設運営を図るため、中長期的な視点から公共施設の効率

市民サービスに不可欠な施設 市役所新庁舎や新ごみ処理施設等 大規模事業を控え財政の見通しは

問 市役所新庁舎や新ごみ処理施設の建設など、大規模事業が控えているが、既存事業を維持しながら実施できるのか、本市の財政見通しについて聞く。

答 本市は、財政状況や財政運営の課題を見える化する財政白書を令和7年3月に策定予定である。15年度までの収支見込みも作成して

おり、毎年度、新年度予算の提案に合わせて2月ごろに更新し、公表していく。大型建設事業の影響については、建設費用が増加傾向にある中、将来的に確保できる財源にも限りがあるため、既存の公共施設の更新の検討は、収支見込みを踏まえ、他の事業も含めた総合的な優先順



建て替えを控える市庁舎

位のもと、各事業の必要額を精査し、事業の選択と集中、スクラップアンドビルドを徹底していく。歳入に関しては、ふるさと納税や企業版ふるさと納税等の財源を活用した事業展開や、民間提案制度などにより確保していく。

新庁舎や新ごみ処理施設は、市民サービスに不可欠な施設である。できる限り費用の圧縮に努め早期に整備する。



県内のサイクリングモデルルートの一つに設定

人権擁護委員

推薦に同意

令和6年7月31日をもって辞任された人権擁護

委員の次期候補者として、尾鷲友美子氏を法務大臣に推薦することに同意しました。なお、本市の人権擁護委員は13人で任期は3年です。

委員会行政視察



市議会では議員の見識を深め、市の施策や審議の参考とするため、先進自治体への視察を行っています。詳しくは、市議会ホームページをご覧ください。

総務常任委員会

刈谷スマートシティの取り組みについて

■日程 11月5日(火)

■視察先 愛知県刈谷市

■視察概要

刈谷市は、自動車関連会社、病院等やエネルギー事業者等による刈谷市スマートシティ推進協議会で実証実験を行っている。

市が抱える課題を企業の技術で解決する提案の公募や市の困りごとへのアイデア募集、企業の実証実験に市のフィールドやインフラを提供している。



刈谷スマートシティの視察(刈谷市)

いわた高校生まちづくり研究所について

■日程 11月6日(水)

■視察先 静岡県磐田市

■視察概要

磐田市は、まちづくり人材育成事業の一環として高校生が市の設定した研究テーマを調査・研究し、研究成果を企

画提案として発表する取り組みを行っている。高校生ならではのアイデアを生かし、これまでに累計32の提案を事業化している。

消防団員増加の取り組みについて

■日程 11月7日(木)

■視察先 静岡県焼津市

■視察概要

焼津市は、消防団の加入啓発の取り組みとして、消防団の活動を漫画で紹介するリーフレットの作成や訓練の様子を動画で配信するなどの取り組みを行っている。また、女性消防隊による救急講習会などの活動を通じて女性への啓発も行っている。

文教厚生常任委員会

不登校児童生徒への支援策について

■日程 7月30日(火)

■視察先 東京都世田谷区

■視察概要

世田谷区は、不登校の相談先として心理職やソーシャルワーカーによる不登校支援窓口を開設し、委託業者によるオンライン授業などを行っている。また、不登校の未然防止等を目的に別室登校の設置を増やすほか、在籍校には通えないが勉強したい中学生のために不登校特例校分教室を開校している。

不登校児童生徒への支援策について

■日程 7月31日(水)

■視察先 茨城県つくば市

■視察概要

つくば市は、校内フリースクールを全小中学校に設置し、民間フリースクールの利用料補助や運営者への事業費補助を行っている。また、ICTを活用した不登校支援として、授業や行事等の様子をオンラインで配信している。

重層的支援体制整備事業について

■日程 8月1日(木)

■視察先 愛知県稲沢市

■視察概要



重層的支援体制整備事業の視察(稲沢市)

稲沢市は、ワンストップ福祉相談窓口の整備として、福祉課と社会福祉協議会を市役所庁舎へ隣同士に設置し、連携しやすい体制にしている。また、稲沢市社協は、居住支援法人格を取得し、住宅確保要配慮者に対し協力不動産店を紹介した民間賃貸住宅への円滑な入居支援を行っている。

生活文化常任委員会

ゼロ・ウェイストの取り組みについて

■日程 7月23日(火)

■視察先 神奈川県逗子市

■視察概要

逗子市は、自治体が家庭ごみの処理において手数料を徴収する家庭ごみ処理の有料化やごみの分別の細分化などを行っている。ごみの分別の細分化については、資源ごみの品目を拡大し、無料で回収することにより相乗的に分別が促進され、燃やすごみと不燃ごみの減量に成功している。ごみ処理施設については、

令和2年度に鎌倉市、葉山町と広域化実施計画を策定し、逗子市には焼却施設を整備しない計画としている。

創業支援、ビジネスサポートセンターについて

■日程 7月24日(水)

■視察先 東京都墨田区

■視察概要

墨田区が民間委託にて平成29年度から運用を開始したビジネスサポートセンターは、経営者を支援するワンストップ窓口で、ものづくりコーデイナーターとビジネスコーディネーターが在籍し、機器の安価な貸し出し等を行っている。創業から3年の存続率が約50%とされている中、

墨田区では、創業計画の見直しや時期の再考など、経営者に寄り添う支援に取り組み、約88%と高い存続率になっている。また、起業ゼミや創業機運醸成事業の実施等により、金融機関や民間事業者、経営支援課とビジネスサポートセンターが連携して新規創業を支援している。



ビジネスサポートセンターの視察(墨田区)

建設企業常任委員会

呉駅周辺地域総合開発事業について

■日程 7月22日(月)

■視察先 広島県呉市

■視察概要

呉市は、次世代モビリティの導入に向けた交通社会実験として水素バスや自動運転バスを運行し、電波や道路状況の調査、走行環境の整備を行っている。今後は実験を重ね、自動走行率の向上や歩行者の不安を払拭することが課題だ。

Park・PFIとは、都市公園において飲食店等の収益施設の設置や管理、事業収益の還元による公共部分の施設整備を一体的に行う民間事業者を公募により選定する手続きのことである。

導入後の効果として、年間240万円の使用料収入、にぎわいの創出等が挙げられるが、事業者とのスピード感がギャップ解消や公募条件等の綿密な協議等が今後の課題である。

尾道市は、平成31年度から水道局と下水道課を組織統合し、上下水道局とした。統合後の効果として、窓口機能の集約化による業務の効率化、有事の際の協働体制の強化等が挙げられる。

Park・PFIの取り組みについて

上下水道の組織統合について



上下水道の組織統合の視察(尾道市)

特集

兵庫県南部地震から30年

1.17は忘れない

平成7年1月17日午前5時46分、兵庫県南部地震が発生し、明石市は大きな被害を受けました。私たちはあの震災を忘れることなく、その記憶や教訓を将来にわたり伝えていく必要があります。

兵庫県南部地震から30年を迎えた今、当時の様子を振り返りながら、災害に強いあかしのまちを次世代につないでいくための取り組みを話し合うため、市議会だより編集委員会を開催し、座談会を行いました。



地震発生時刻の午前5時46分で停止した天文科学館の塔時計



①石垣や樹木が倒壊(明石公園) ②平成7年3月定例会市議会で震災犠牲者に黙とうを捧げる(本会議場) ③地震の2日後に被災者相談センターを開設(市役所2階ロビー) ④缶詰などの救援物資の仕分け作業(市役所) ⑤屋根瓦がすべり落ちた民家(太寺)

座談会テーマ

「災害に強いあかしのまちを次世代につなぐ」

市議会だより編集委員会



- 辰巳 浩司 議長
- 寺井 吉広 副議長
- 出雲 有希子 委員
- 河村 和歌子 委員
- 黒田 智子 委員
- 林 丸美 委員
- 上田 雅彦 委員

■兵庫県南部地震を振り返って

議長：兵庫県南部地震から30年が過ぎ、震災を知らない世代も増えています。震災の経験や教訓を次の世代につないでいくことが大切ですが、当時を振り返って何か思うところはありますか。

委員：自宅が全壊しましたが、公の支援はすぐに届かなかったので、日頃の備えや近所との助け合いが大事だと実感しました。

委員：震災や災害の予測は難しいが、教訓や経験を生かして災害に強いまちや社会をつくっていかねばならないし、震災を知らない世代に語り継いでいく必要があると思います。

委員：当時は学生だったので友人とボランティアに行こうとしましたが、まずどこに行けばボランティアができるのかが分かりませんでした。ボランティアの情報やコーディネート的重要性を感じました。

委員：震災後、食料品店に全く食料品がなく、食べる物を手に入れることが大変でした。備蓄物資の必要性を感じました。



手前から 出雲委員、河村委員、辰巳議長、寺井副議長

■災害時の市議会の動き

議長：災害発生時の行動マニュアルを作成してから、5年近くたちますが、検証するためにも訓練を行う必要があります。

副議長：他市の行政視察の際、年1回災害時を想定したオンライン議会を行う訓練をしていると聞きました。本市でも同様の訓練ができればいいと思います。

委員：災害発生時の行動マニュアルに「議員が地域の被災状況の把握をする」とありますが、情報収集する項目を決めておけば、全員が同じように動けるのではないのでしょうか。

委員：決めすぎると災害時は臨機応変に動けなくなると思います。大枠を決めておけばよいのではないのでしょうか。

委員：地域によって被災状況が異なるので、状況に応じた対応を適宜行うのが理想だと思います。議会として情報集約の仕組みを作って、情報共有の方法を決めて訓練することが大事ではないのでしょうか。

委員：以前勤めていた会社では、まず生存確認を最優先に行っていました。

委員：ほかの民間団体でも毎年本人、家族、職場の職員の生存確認の訓練を行っているところがあります。議会でもそういった訓練を行ってはどうでしょうか。

■災害に強いまちづくりに向けて

議長：今後どのようにして市民と一緒に災害に強いまちづくりを行っていくべきでしょうか。市内では耐震化や備蓄、マニュアルの整備が進んでいます。

委員：市は避難所整備やマニュアル作成のほか、災害時に支援を要する人の要配慮者支援名簿も作成し、防災の取り組みを進めています。

委員：議員は、市の防災担当の部署と年1回は情報交換して、市民に最新の情報を伝えられるようにしておかなければならないと思います。

副議長：市が作成し、市民に全戸配布しているハザードマップはよくできていると思います。活用するための訓練が必要ではないのでしょうか。

委員：昨年は能登半島地震の発生や南海トラフ地震臨時情報の発表もありました。震災はいつ起きてもおかしくないです。

副議長：昨年の議員研修会では防災をテーマに取り上げたので、取り組みの参考にしたいと思っています。

議長：防災の情報が多岐に渡っており、一元的に整理できていないところがあります。この機会に一度、情報を整理して共有しておきたいと思っています。



左から 林委員、黒田委員、上田委員

第2回定例会
12月議会

議案の賛否一覧

Table with columns for political parties (自由民主党明石, 公明党, 市民の会, etc.) and individual council members, and rows for various proposals (議案第91号, etc.) with their respective approval statuses (賛成, 反対, etc.).

※辰巳議員は議長のため、採決には加わりません。

[表示例] ○……賛成 ×……反対 欠……欠席

- 議案第 91 号 刑法等の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整理に関する条例制定のこと
第 92 号 明石市葬祭事業条例の一部を改正する条例制定のこと
第 93 号 明石市空家等の適正な管理に関する条例の一部を改正する条例制定のこと
第 94 号 明石市水道事業の設置等に関する条例の全部を改正する条例制定のこと
第 95 号 明石市下水道条例等の一部を改正する等の条例制定のこと
第 96 号 令和6年度明石市一般会計補正予算(第6号)
第 97 号 令和6年度明石市水道事業会計補正予算(第1号)
第 98 号 令和6年度明石市下水道事業会計補正予算(第1号)
第 99 号 明石市立文化博物館に係る指定管理者の指定のこと
第100号 明石市立夜間休日応急診療所に係る指定管理者の指定のこと
第101号 明石市立あかしユニバーサル歯科診療所に係る指定管理者の指定のこと
第102号 あかし斎場旅立ちの丘に係る指定管理者の指定のこと
第103号 明石駅前立体駐車場に係る指定管理者の指定のこと
第104号 17号池魚住みんな公園及び中尾親水公園に係る指定管理者の指定のこと
第105号 明石市職員の給与に関する条例等の一部を改正する条例制定のこと
第106号 明石市特別職の職員の給与に関する条例及び明石市公営企業管理者の設置及び給与等に関する条例の一部を改正する条例制定のこと
第107号 令和6年度明石市一般会計補正予算(第7号)
諮問第1号 人権擁護委員候補者の推薦につき意見を求めること

- 委員会提出議案第3号 明石市議会の個人情報の保護に関する条例の一部を改正する条例制定のこと
諮願受理第7号 音楽活動を行うことができる文化施設の充実を求める諮願
第 8号 新ごみ処理施設計画について市民説明会を開くよう求める諮願

議案の概要については、市議会のホームページもしくは市役所1階の行政情報センターで閲覧できます。

決まりました

第2回定例会 12月議会で可決した議案内容を一部紹介します。

◎物価高騰対応支援給付金の支給を行います(議案第107号 令和6年度明石市一般会計補正予算(第7号))

物価高騰の影響が大きい低所得世帯への負担軽減を図るため、住民税非課税世帯に給付金を支給します。

【内容】

Table with 3 columns: 住民税非課税世帯, 子育て世帯への加算, and 支給対象. Rows include 支給対象, 給付額, 財源, スケジュール, 申請方法, and 周知方法.



令和7年第1回定例会
3月議会の予定

※日程は変更する
場合があります

- 2月 20日(木)10:00 本会議(議案上程・提案説明)
3月 3日(月)10:00 本会議(質疑・一般質問)
4日(火) // 本会議(質疑・一般質問)
5日(水) // 本会議(質疑・一般質問)
6日(木) // 総務常任委員会
7日(金) // 生活文化常任委員会
10日(月) // 文教厚生常任委員会
11日(火) // 建設企業常任委員会
12日(水)15:00 本会議(委員会審査報告・議案採決)
13日(木)10:00 総務常任委員会
14日(金) // 生活文化常任委員会
17日(月) // 文教厚生常任委員会
18日(火) // 建設企業常任委員会
25日(火) // 本会議(委員会審査報告・議案採決)
本会議は明石ケーブルテレビ717chで生中継されます

親で動かす部屋に地震が... たか分らずにいたが、父... だか分からずいたが、父... だか分らずにいたが、父... だか分らずにいたが、父...